

工事番号															
市 長		副 市 長		部 長		課 長		係 長		係 員		検 算		担 当	
令和 8 年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事 閲覧設計書															
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明															
設 計 大 要								施 工 方 法				請 負			
橋梁補修工 塗替塗装工 Rc- 塗装系 A=114.9m2 ひび割れ補修工 一式 呼吸用保護具等費用 一式								施 工 期 間				162 日間			
								起工予定年月日				令和 年 月 日			
								竣工予定年月日				令和 年 月 日			
								契約保証方法				金銭的保証			

総括情報表

頁0-0002

事務所名 変更回数 適用単価区分 単価適用地区 実施設計単価表等の適用日	61 安曇野市 0 1 実施単価 50 1 1 中信（ 2 ） 08.07.01			
	当 世 代	前 世 代		
前払率（％） 消費税率（％） 工種 施工地域区分(共通仮設) 施工地域区分(現場管理) 現場環境改善費率計上分 契約保証方法 豪雪割増 週休2日補正 冬期補正（現管）	40 10 % 10 橋梁保全工事 09 補正無し 09 補正無し 02 上記以外 01 金銭的保証 02 豪雪割増無し 09 週単位（土日） 264			

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0003

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊						
橋梁保全工事						
			式			
現場塗装工						
			式			
橋梁塗装工						
			式			
素地調整						
	115	m 2				工種 第0001号表
下塗 (1 層目)						
	115	m 2				工種 第0002号表
下塗 (2 層目)						
	115	m 2				工種 第0003号表
中塗						
	115	m 2				工種 第0004号表
上塗						
	115	m 2				工種 第0005号表

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0004

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁補修工					
		式			
ひび割れ補修工					
		式			
低圧注入工法					
	1	構造物			工種 第0006号表
充てん工法					
	1	構造物			工種 第0007号表
仮設工					
		式			
任意仮設工					
		式			
足場					
	97	m 2			工種 第0008号表
防護					
	112	m 2			工種 第0009号表
＊ ＊ 直接工事費 ＊ ＊					

(工事費内訳書)

＊ ＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ ＊

頁 -0005

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
技術管理費						
技術管理費						
			式			
技術管理費						
			式			
溶出試験						
	1		式			工種 第0010号表
安全費						
安全費						
			式			
安全費						
			式			
呼吸用保護具等費用						
			式			
呼吸用保護具等費用 鉛含有塗膜対応 資機材一式						
	1		式			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 現場環境改善費 (率分) ***						
率 0.0178						
*** 共通仮設費率計算額 ***						
補正無の率 0.2732			補正後の率 0.2787			
*** 共通仮設費計 ***						
*** 純工事費 ***						
*** 現場管理費 ***						
補正無の率 0.6588			補正後の率 0.6818			
*** 工事原価 ***						
*** 一般管理費等 ***						
補正無の率 0.2513			前払率補正 1.0000 契約保証補正 0.0004			

(工事費内訳書)

*** 本工事費 ***

費目・工種・種別・細別・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 工事価格計 **						
** 消費税等 相当額計 ** 率 0.1000						
** 工事費計 **						
(参考) 直接工事費のうち労務費						
(参考) 直接工事費のうち材料費						
(参考) 現場 管理費のうち 法定福利費 率 0.0387						
(参考) 現場管理費のうち建退協制度の掛金						
(参考) 工事原価のうち安全衛生費用						

素地調整

工種明細表

工種 第0001号表

頁0-0008

[illegible]

下塗 (1 層目)

工種明細表

工種 第0002号表

頁0-0009

[illegible]

下塗（2層目）

工種明細表

工種 第0003号表

頁0-0010

[illegible]

中塗

工種明細表

工種 第0004号表

頁0-0011

[illegible]

上塗

工種明細表

工種 第0005号表

頁0-0012

[illegible]

低压注入工法

工種明細表

工種 第0006号表

頁0-0013

[illegible]

充てん工法

工種明細表

工種 第0007号表

頁0-0014

[illegible]

足場

工種明細表

工種 第0008号表

頁0-0015

[illegible]

防護

工種明細表

工種 第0009号表

頁0-0016

[illegible]

溶出試験

工種明細表

工種 第0010号表

頁0-0017

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0018

橋梁塗装工 素地調整（塗替）
3種ケレンA

構造区分による補正なし

施工 第0 -0001号表

100

m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁塗装工 塗替 素地調整 3種ケレンA 制約無 昼間	100.000	m 2			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
作業内容：素地調整 構造区分： 構造区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし			素地調整区分：3種ケレンA 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし		

施 工 内 訳 表

頁0-0019

橋梁塗装工 下塗り（塗替）

施工 第0 -0002号表

弱溶剤形変性エポキシ1層 はけ・ローラー 構造区分による補正なし

100

m 2

当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁塗装工 塗替 下塗（はけ・ローラー） 弱溶剤形変性エポキシ 1層 制約無 昼間	100.000	m 2			
諸雑費	1	式			
*** 合 計 ***	100	m 2			
*** 単位当り ***	1	m 2			
作業内容：下塗り 構造区分： 構造区分による補正なし 時間的制約の有無：時間的制約なし			下塗り塗料区分：弱溶剤形変性エポキシ1層 はけ・ローラー 夜間作業の有無：夜間作業（20時～6時）なし		

施工内訳表

頁0-0020

橋梁塗装工 中塗り（塗替）

弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー 淡彩 構造区分による補正なし

施工 第0 -0003号表

100

m 2

当日

[illegible]

安曇野市

施工内訳表

頁0-0021

橋梁塗装工 上塗り（塗替）

弱溶剤形ふっ素樹脂 はけ・ローラー 濃彩 構造区分による補正なし

施工 第0 -0004号表

100

 m_2

当以

[illegible]

安曇野市

施 工 内 訳 表

頁0-0022

ひび割れ補修工（低圧注入工法）
1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満

施工 第0 -0005号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材	1.920	k g			
シール材	1.822	k g			
低圧注入器具	58.000	個			
諸雑費	6.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
1 構造物当り補修延べ延長区分：1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満 1 構造物当りのシール材設計量（k g）：1.33 注入材単価（円 / k g）： 低圧注入器具単価（円 / 個）：				1 構造物当りの注入材使用量（k g）：1.92 1 構造物当りの低圧注入器具使用量（個）：58 シール材単価（円 / k g）：	

施 工 内 訳 表

頁0-0023

ひび割れ補修工（充てん工法）
1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満

施工 第0 -0006号表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.850	人			
特殊作業員	1.300	人			
普通作業員	1.100	人			
充填材	0.198	kg			
諸雑費	17.000	%			
*** 単位当り ***	1	構造物			
1 構造物当り補修延べ延長区分：1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満 充てん材単価（円 / k g ）：			1 構造物当り充てん材設計量（ k g ）：0.165		

施 工 内 訳 表

足場
TYPE-A1

施工 第0 -0007号表

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工 桁高 1 . 5 m未満 主体足場架設供用月数 1 月	1	m 2			施工 第0-0008号表
床面シート張り 損料係数S=79 歩掛係数N=0.007 供用月数1 橋梁補修の解説と積算参照	1	m ²			
* * * 単位当り * * *	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0025

足場工
桁高 1 . 5 m未満

主体足場架設供用月数 1 月

施工 第0 -0008号表

1 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
足場工	1.000	m 2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m 2			
桁高：桁高 1 . 5 m未満			主体足場架設供用月数 X (月) : 1		

施 工 内 訳 表

頁0-0026

朝顔
TYPE-B

施工 第0 -0009号表

1 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝顔 両側朝顔 朝顔架設供用月数 1 月	1	m 2			施工 第0-0010号表
シート張防護工（両側朝顔） 防護工架設供用月数 1 月	1	m 2			施工 第0-0011号表
* * * 単位当り * * *	1	m ²			

施 工 内 訳 表

頁0-0027

朝顔
両側朝顔

施工 第0 -0010号表

朝顔架設供用月数 1 月

1 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
朝顔工	1.000	m 2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m 2			
朝顔の区分：両側朝顔			朝顔架設供用月数 X 1 (月) : 1		

施 工 内 訳 表

頁0-0028

シート張防護工（両側朝顔）

施工 第0 -0011号表

防護工架設供用月数 1月

1 m 2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護工	1.000	m 2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当り ***	1	m 2			
防護工種別：シート張防護工（両側朝顔）			防護工架設供用月数 X 2（月）：1		

位置図



特記仕様書

工事名：令和８年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事
箇所名：安曇野市 穂高有明

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

1 工事内容

- (1) 工事概要は金抜き設計書のとおりとする。
- (2) 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施にあたっては、「電子納品に係る実施要領」によるものとする。
- (3) 本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。利用にあたっては、「情報共有システム実施要領」によるものとする。
- (4) 本工事は週休２日工事の対象工事である。「安曇野市週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
(参考)「安曇野市週休２日工事実施要領」
- (5) 本工事は「ＩＣＴ活用工事の実施方針」に基づき、ＩＣＴ技術の活用が可能な建設工事である。実施にあたっては、各工種の「ＩＣＴ活用工事実施要領（国土交通省）」によるものとする。
(参考)「ＩＣＴ活用工事の実施方針・実施要領」
- (6) 本工事は、「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」に基づく、建設キャリアアップシステム活用試行工事である。
(参考)「長野県建設キャリアアップシステム活用工事試行要領」
- (7) 上記(2)(5)(6)の実施または活用の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙－２『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

2 工期関係

本工事は、「余裕期間制度（フレックス方式）」の適用工事である。

実工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から起算して162日間とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。

① 準備期間	60 日間
②雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数	0.77

著しい悪天候や気象状況より工程が過去５年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

4 発生土・廃棄物関係

- (1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

- (2) 建設発生土 【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
〇〇	円/m ³	〇〇 km	

上記の搬出先について、原則として変更しない。なお、発注時点で想定していないやむを得ない事情等により、搬出先が変更となった場合は、設計変更の対象とする。

- (3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等				
アスファルト塊		再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
	二次 製品	再利用	処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	
建設発生木材			処理工場名		距離		km
			数 量		t	・ m ³	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※排出する対象物が設計寸法と異なる場合は、発注者と協議すること。その際、寸法等を確認できる資料を提出すること。

- (4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
木くず (抜根・伐採材)		再利用	処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
汚 泥			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	
その他（金属クズ他）			処理工場名		距離	km
			数 量	t	・ m ³	

※処理場名は積算上の条件であり、処理場を指定するものではない。

※積算に用いる木くず処理量の体積 — 重量換算は、実施設計単価表に記載される換算係数を用いる。なお、体積(m³)での確認となる場合は、体積を確認できるよう1台毎写真管理すること。

※伐採材については、有価売却を検討すること。

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記(3)、(4)に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

5 その他

(1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。（ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。）	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。 また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様

あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

(2) 個別事項

- ① 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- ② 不可視部分の施工は監督員の立ち合い確認を求めること。
- ③ 本工事は砂防指定地内での工事となるため、管理者との協議後に施工を開始すること。
- ④ 本橋梁の既存塗装は鉛を含んでいるため、呼吸用保護具等必要な措置を講ずること。
また、足場の設置についてはケレン作業の塗膜カス粉塵が外部に飛散しないような設備とすること。
なお、塗膜片の処分については、溶出試験を実施のうえ試験結果に基づき適正に処分すること。
- ⑤ 本工事は余裕期間制度（フレックス方式）を適用した工事であるため、以下の条文及び「安曇野市余裕期間制度施行実施要領」に従い取り組むものとする。

第1条 主任技術者等の選任期間

- 1 契約締結日の翌日から実工期の始期日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。
- 2 契約締結日の翌日から工事開始日の前日までの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、発注者と受注者の間で書面により明確にした場合に限り、主任技術者又は管理技術者の工事現場での選任を要しない。

第2条 実工期

本工事は、受注者の円滑な工事施行体制の確保を図るため、事前に建築資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事の完成期限までの間で、受注者は工期の始期及び工期の終期を任意に設定できる。なお、契約を締結するまでの間に、別に定める「工事開始日報告書」の様式により、工期の始期及び終期を報告すること。

工期の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を設置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置、現場事務所の建設、測量等、工事の着手を行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

全体工期 契約締結の日 から 222日間 まで

第3条 CORINSへの登録

技術者の従事期間は、実工期を登録する。（余裕期間を含まないことに留意する。）

- ⑥ 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を完了時までに報告すること。

- ⑦ 中東情勢の変化等による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更について、
- (1) 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要な経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。
 - (2) 調達検討資材は監督職員と協議するものとする。
協議にあたり以下の書類を添付すること。
・ナフサ由来製品であることが確認できる資料（カタログ、メーカー資料等、メーカー聞き取りでも可）
 - (3) 別途調達経費が必要となり設計変更を行う場合とは、以下を想定している。
調達検討資材の代替資材を調達した場合
調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
調達検討資材を調達した場合（別途調達経費を含む）
 - (4) 受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。
- ⑧ 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。
- ア 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙ー５の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１内容ずつ（いずれか１費目のみ２内容）、合計５つの内容を選択すること。
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
 - イ この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
 - ウ この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。
 - エ 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。
 - オ 主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行うものとする。
- ⑨ その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和７年７月１日適用版

資材単価等について

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和8年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(四)

[illegible]

補修数量総括表

橋梁名	しゃくなげ橋					
工 種 ・ 種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	設計値	備 考
塗替塗装工						
塗替塗装工	素地調整Ⅲ種A	下地処理:3種ケレンA	m2	114.9	115	塗替塗装図より
	Rc-Ⅲ塗装系	下塗:エポキシ樹脂塗料	m2	114.9	115	
		中塗:ふっ素樹脂塗料	m2	114.9	115	
		上塗:ふっ素樹脂塗料	m2	114.9	115	
ひび割れ補修工						
ひび割れ補修工	低圧低速注入工法	エポキシ樹脂溶液 3種	m	13.90	13.90	
	充填工法	可とう性エポキシ樹脂	m	0.85	0.85	
仮設工						
足場工	吊足場 TYPEA1	板張防護+シート養生	m2	96.6	97	
	朝顔 TYPEB	板張防護+シート養生	m2	111.9	112	
安全費						
呼吸用保護具等費用	鉛含有塗膜対応		式	1	1	
試験費						
	溶出試験	25項目	式	1	1	

ひび割れ注入工集計表

[illegible]

しゃくなげ橋 ひび割れ補修工:低圧注入工法

※注入材比重:1.15

補修部位:床版

※注入器1本当りの使用量:25*1.15=28.75g

番 号	部 位	開口ひび割れ注入量			注入器数量 (本)	注入器1本当り 使用量(g) ロス率を含む	注入材使用量 w(g) ロス率を含む
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)			
					設置間隔250mm	注入材ロス率 1.15	
1	床版下面	0.2	3000	40	12	33.06	396.72
2		0.2	2700	40	11	33.06	363.66
3		0.2	950	40	4	33.06	132.24
計			6.65		27		892.6

しゃくなげ橋 ひび割れ補修工:低圧注入工法

補修部位:A1、A2橋台

番 号	部 位	開口ひび割れ注入量			注入器数量 (本)	注入器1本当り 使用量(g) ロス率を含む	注入材使用量 w(g) ロス率を含む
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)			
					設置間隔250mm	注入材ロス率 1.15	
1	A1胸壁	0.5	2100	100	9	33.06	297.54
2	A1堅壁	0.2	650	40	3	33.06	99.18
3	A2胸壁	0.3	2400	60	10	33.06	330.60
4		0.4	1000	80	4	33.06	132.24
5	A2堅壁	0.3	1100	60	5	33.06	165.30
計			7.25		31		1,024.9

補修部位:A1胸壁

充てん材のロス率= 1.3

とする

とする

を標準とし

※ ひび割れ面のカット面積は

W10mm×t10~15mm

とする

充てん断面積

A=

115

mm2

とする

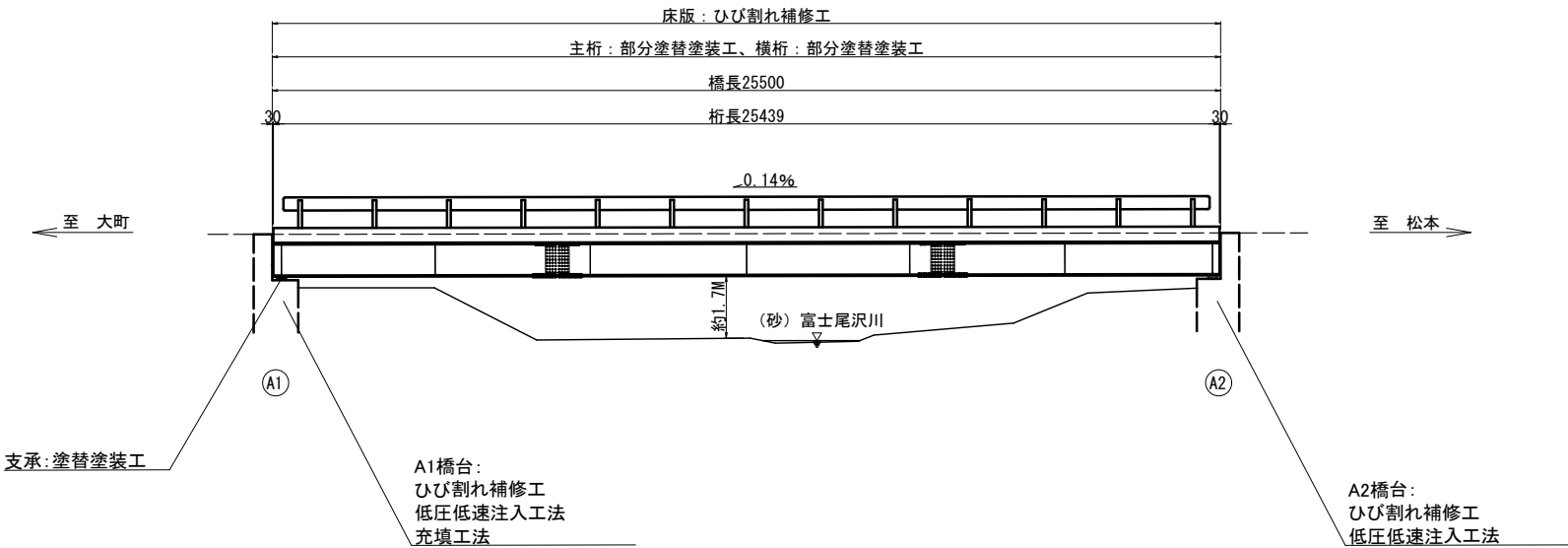
番 号	部 位	開口ひび割れ注入量			充てん量(A×L) V(ml)	重量V×比重 W' (g)	充てん量w(g) ロス率を含む
		幅 W(mm)	長さ L(mm)	深さ D(mm)			
1	A1胸壁	1.0	600	200	69.00	89.70	116.61
2		1.5	250	300	28.75	37.38	48.59
計			0.85		97.8	127.1	165.2

溶出試験(25項目)				
種別(3)	細別(4)	規格(5)	計算式	数量
溶出試験(25項目)				
	前処理 溶出液作成料	溶出試験用		1 検体
1	アルキル水銀	溶出試験		1 検体
2	総水銀	溶出試験		1 検体
3	カドミウム	溶出試験		1 検体
4	鉛	溶出試験		1 検体
5	有機リン	溶出試験		1 検体
6	六価クロム	溶出試験		1 検体
7	ひ素	溶出試験		1 検体
8	シアン	溶出試験		1 検体
9	PCB	溶出試験		1 検体
10	チウラム	溶出試験		1 検体
11	シマジン	溶出試験		1 検体
12	チオベンカルム	溶出試験		1 検体
13	セレン又はその化合物	溶出試験		1 検体
14	1,4-ジオキサン	溶出試験		1 検体
15	トリクロロエチレン	溶出試験		1 検体
16	テトラクロロエチレン	溶出試験		1 検体
17	ジクロロメタン	溶出試験		1 検体
18	四塩化合物	溶出試験		1 検体
19	1,2-ジクロロエタン	溶出試験		1 検体
20	1,1-ジクロロエチレン	溶出試験		1 検体
21	1,1,1-トリクロロエタン	溶出試験		1 検体
22	1,1,2-トリクロロエタン	溶出試験		1 検体
23	1,3-ジクロロプロペン	溶出試験		1 検体
24	ベンゼン	溶出試験		1 検体
25	シス-1,2-ジクロロエチレン	溶出試験		1 検体

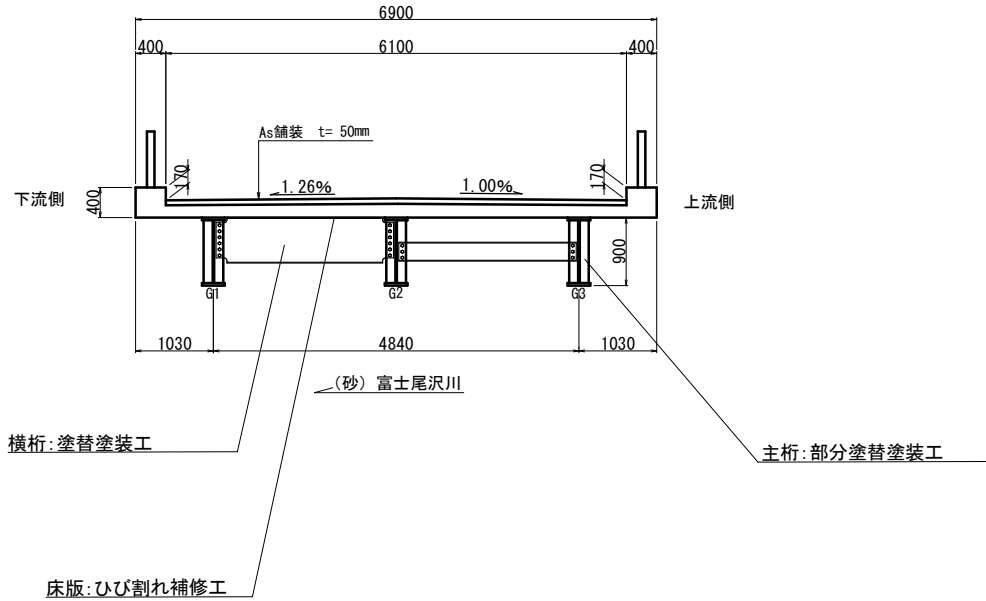
補修工一般図
しゃくなげ橋

S=1:100
A3 S=1:200

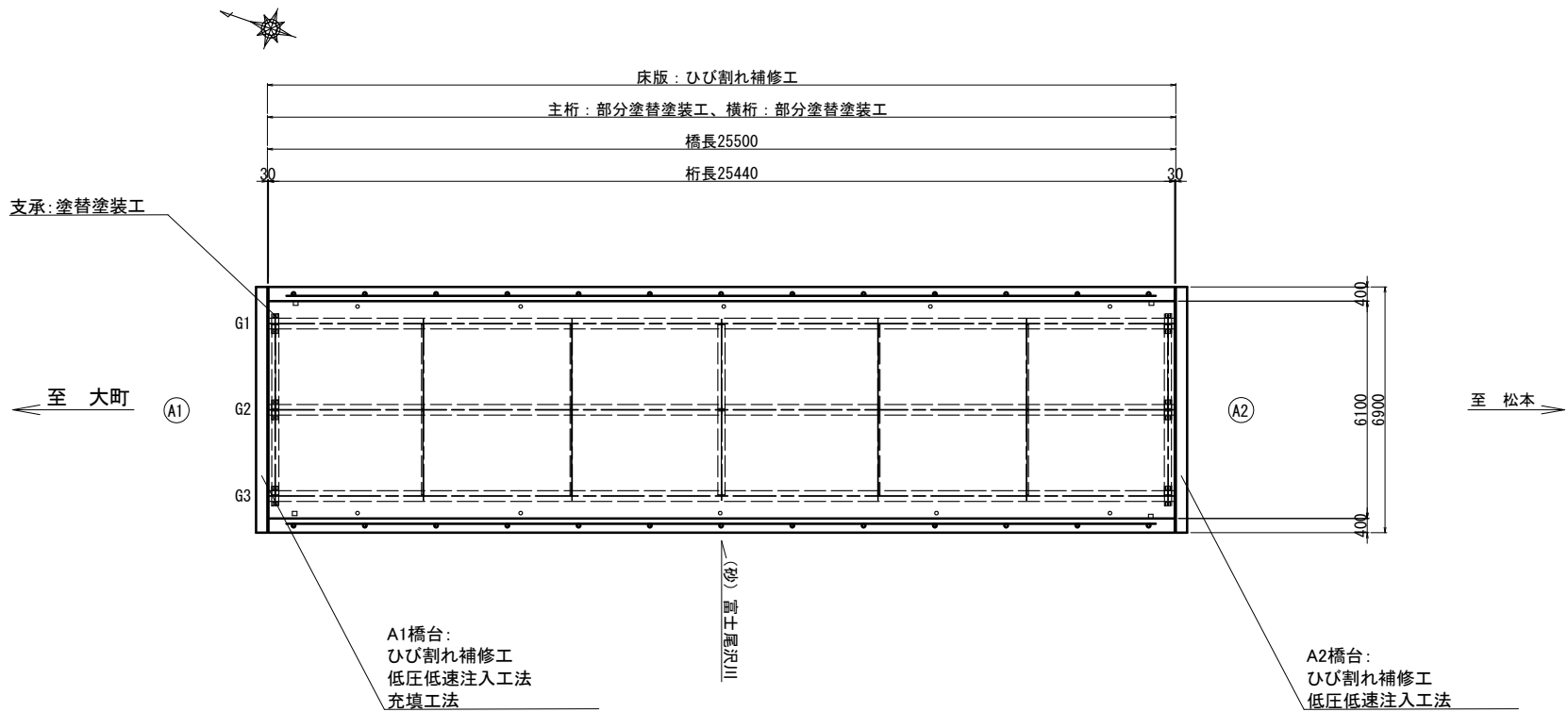
側面図



断面図 S=1:50



平面図



しゃくなげ橋 補修工法一覧表

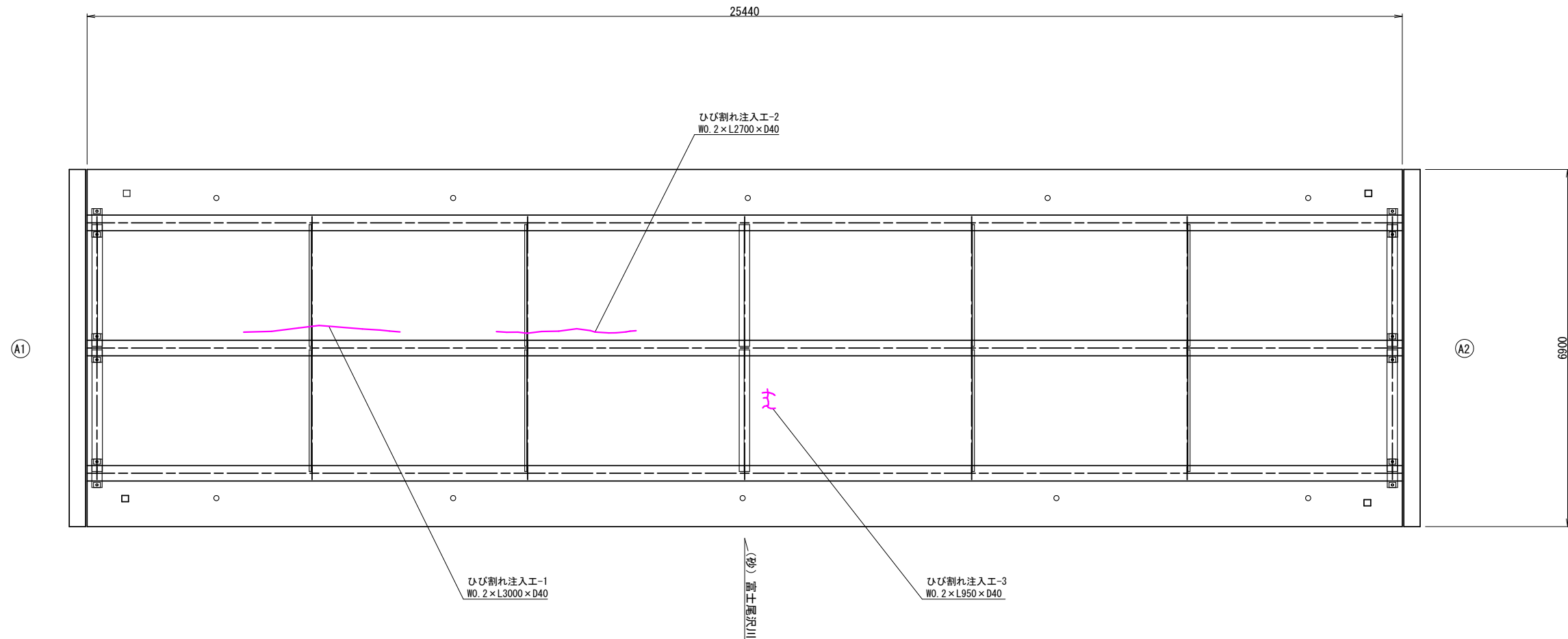
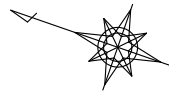
	補修部位	工種	種別	細別	単位	数量
橋体工	床版	ひび割れ補修工	低圧低速注入工法	エポキシ樹脂溶液 3種	m	6.65
	主桁	塗替塗装工	素地調整Ⅲ種A Rc-Ⅲ塗装系	上塗：ふっ素樹脂塗料	m ²	114.89
	横桁			中塗：ふっ素樹脂塗料		
下部工	橋台	ひび割れ補修工	低圧低速注入工法	エポキシ樹脂溶液 3種	m	7.25
		充填工法		可とう性エポキシ樹脂		0.85

実施図

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	1/7	平面図	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工（河川協議必要）		
有り	無し		

床版補修図
しゃくなげ橋：床版下面

S=1:50
A3 S=1:100



ひび割れ注入工（低圧注入工法）

（使用材料：エポキシ樹脂系注入材 3種相当）

No.	部 位	開口ひびわれ注入量		
		幅 W (mm)	長さ L (mm)	深さ D (mm)
1	床版下面	0.2	3000	40
2		0.2	2700	40
3		0.2	950	40
合 計		6.65 m		

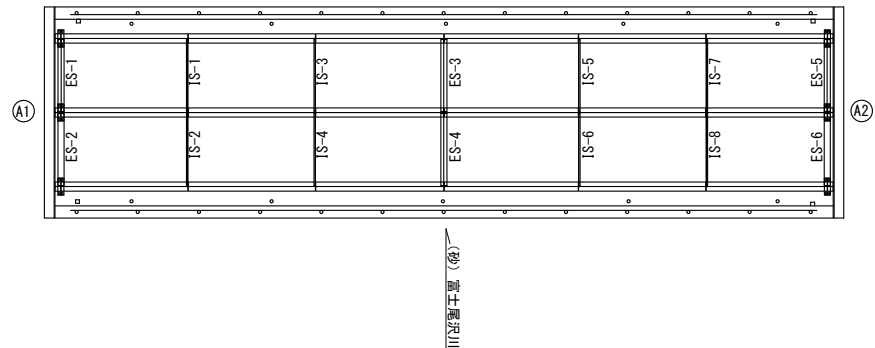
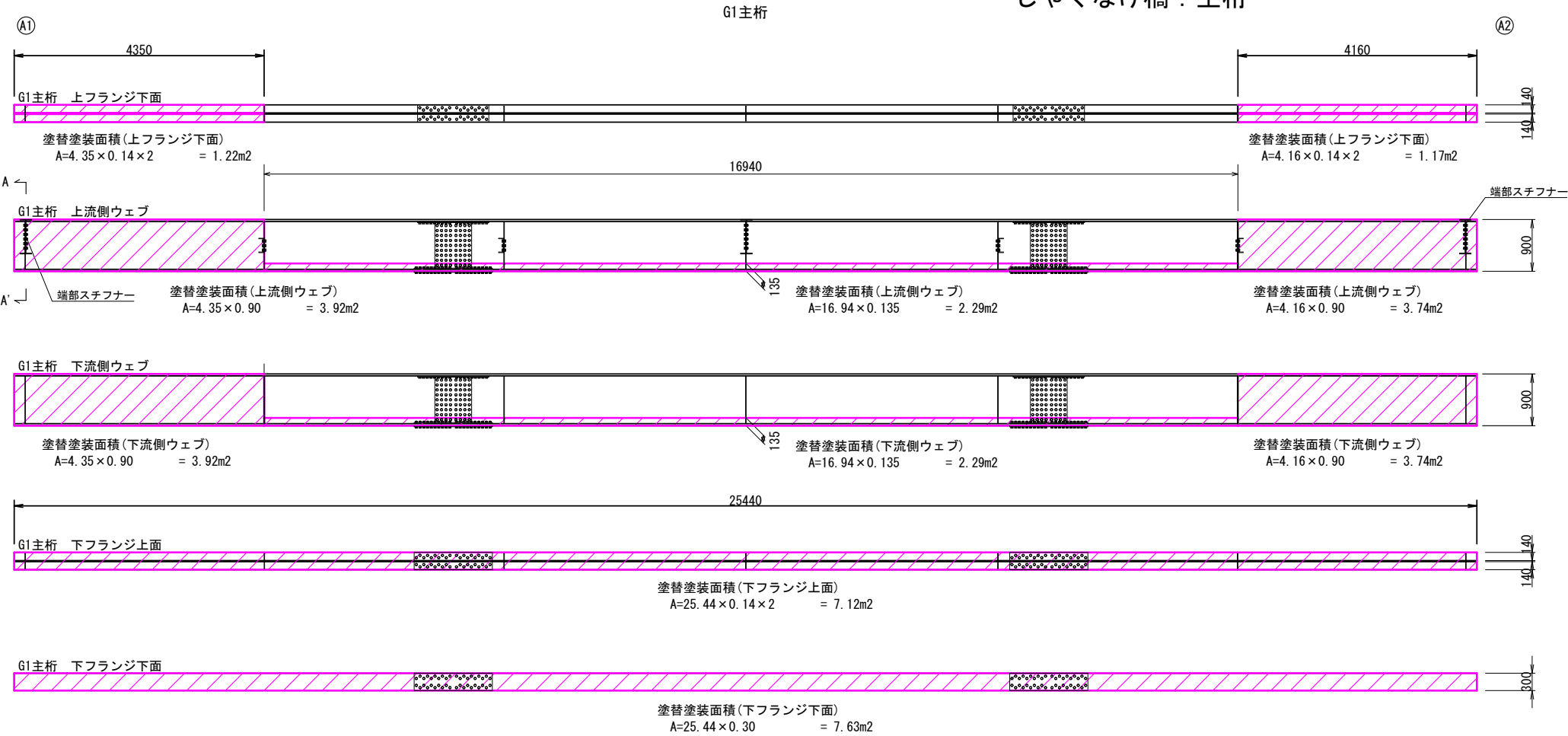
実 施 図

令和8年度 道路メンテナンス事業			
しゃくなげ橋補修工事			
番号	2/7	床版補修図	縮尺 図示
市道穂高0763号線			
安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工（河川協議必要）		
有り	無し		

塗替塗装図(1)

しゃくなげ橋：主桁

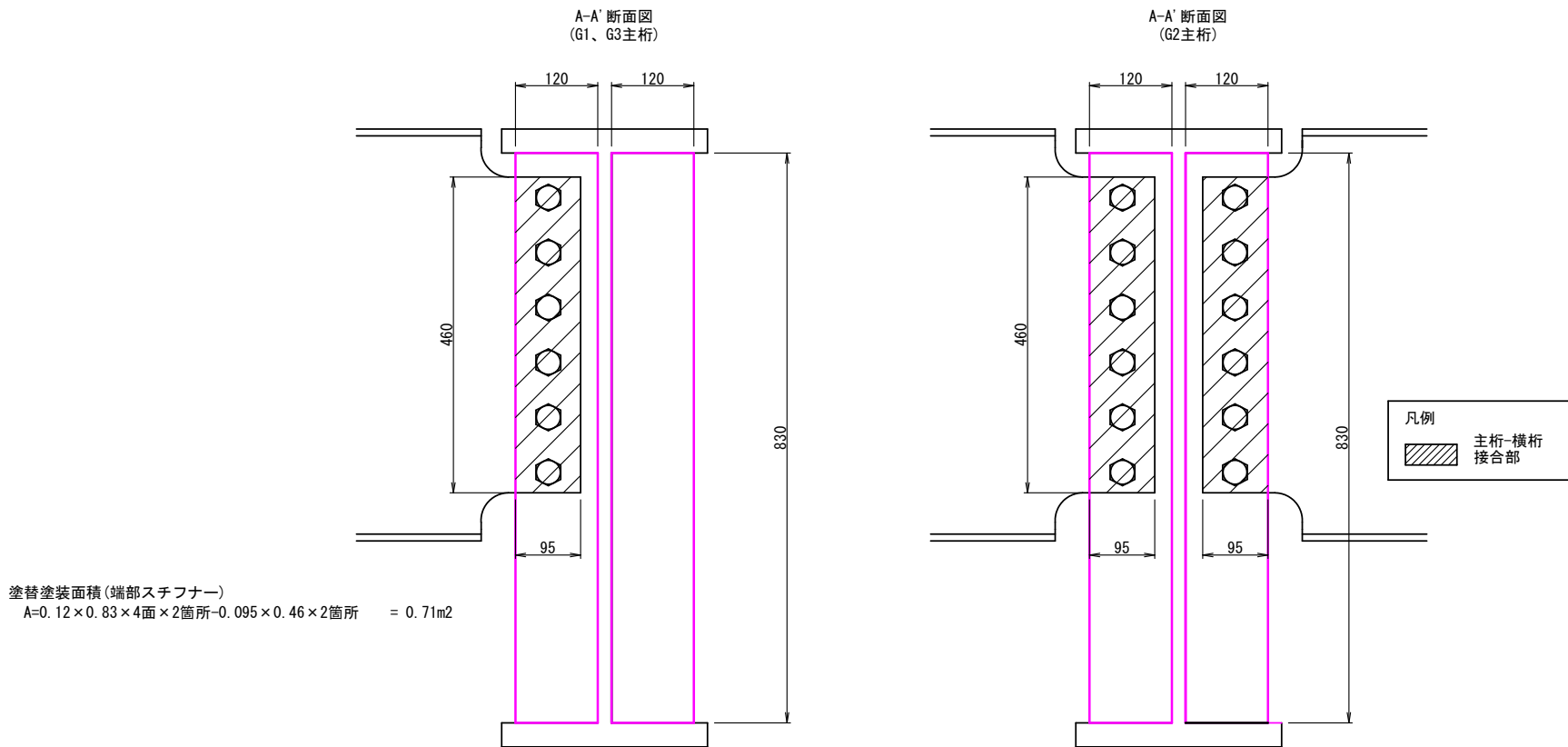
S=1:50
A3 S=1:100



部分塗替塗装面積：G1主桁

部 位	計 算 式	単位	数 量
上フランジ下面	1.22+1.17	m2	2.39
上流側ウェブ	3.92+2.29+3.74		9.95
下流側ウェブ	3.92+2.29+3.74		9.95
下フランジ上面	7.12		7.12
下フランジ下面	7.63		7.63
端部スチフナー	0.71		0.71
合 計			37.75m2

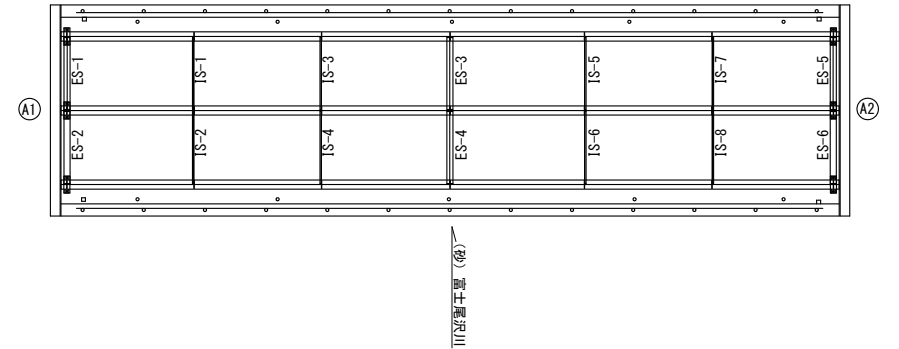
端部スチフナー詳細図 A1 S=1:5



実 施 図

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	3/7	塗替塗装図(1)	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工(河川協議必要)		
	有り	無し	

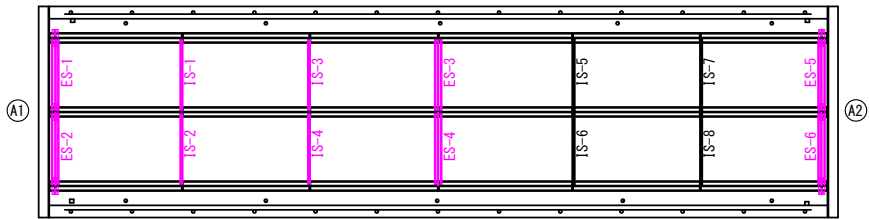
S=1:50
A3 S=1:100



部 位	計 算 式	単位	数 量
上フランジ下面	$0.28+0.98+0.63+0.28$	m2	2.17
上流側ウェブ	$6.59+2.31+0.90$		9.80
下流側ウェブ	$0.90+3.16+0.90$		4.96
下フランジ上面	7.12		7.12
下フランジ下面	7.63		7.63
端部スチフナー	0.62		0.62
合 計			32.30m2

部分塗替塗装面積：G3主桁			
部 位	計 算 式	単位	数 量
上フランジ下面	$0.98+0.61+0.56$	m ²	2.15
上流側ウェブ	$1.80+2.89+1.80$		6.49
下流側ウェブ	$3.92+2.58+1.80$		8.30
下フランジ上面	7.12		7.12
下フランジ下面	7.63		7.63
端部スチフナー	0.71		0.71
合 計			32.40m ²

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	4/7	塗替塗装図(2)	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項		1 高水期施工（河川協議必要）	
有り	無し		

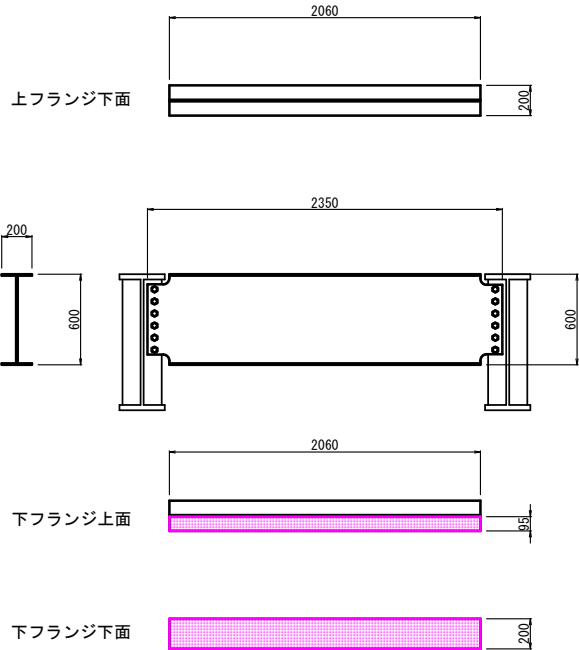


塗替塗装図(3)

しゃくなげ橋：横桁、支承

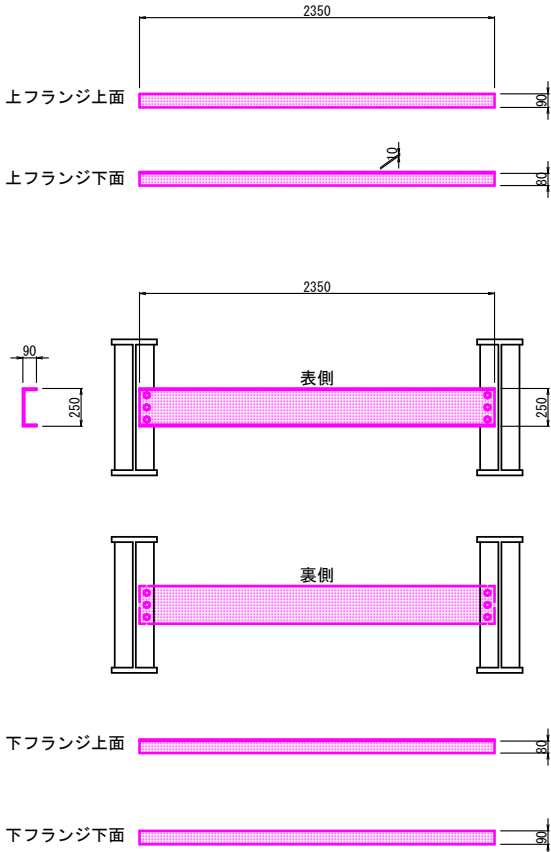
S=1:25
(A3=1:50)

横 桁
(ES-1～6共通)



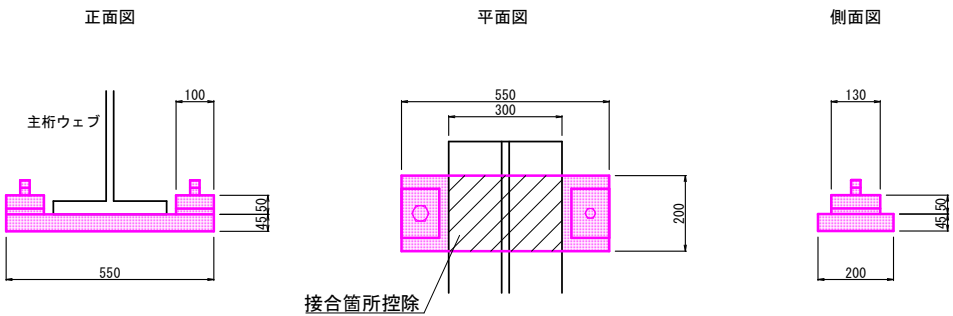
横桁部分塗替塗装面積 (ES-1～6)
下フランジ上面 A=2.06×0.095×6箇所 = 1.17m²
下フランジ下面 A=2.06×0.20×6箇所 = 2.47m²
Σ A = 3.64m²

横 桁
(IS-1～4共通)



横桁部分塗替塗装面積 (IS1～4)
上フランジ上面 A=2.35×0.09×4箇所 = 0.85m²
上フランジ下面 A=2.35×0.08×4箇所 = 0.75m²
表面+裏面 A=2.35×0.25×2×4箇所 = 4.70m²
下フランジ上面 A=2.35×0.08×4箇所 = 0.75m²
下フランジ下面 A=2.35×0.09×4箇所 = 0.85m²
Σ A = 7.90m²

支承塗替塗装工図 A1 S=1:10



塗装面積計算：支承 N=6箇所

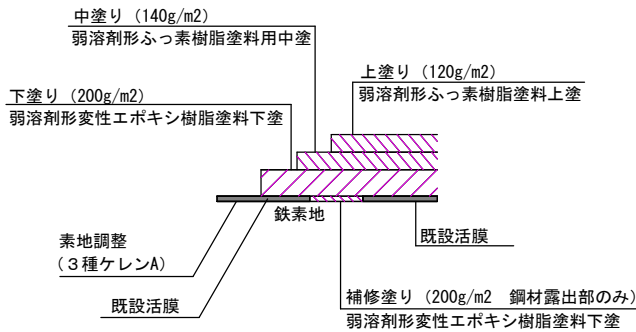
部 材	部 位	計 算 式	
支 承	(正面)	(0.10×0.05×2+0.55×0.045)×2面	= 0.07 ... a
	(平面)	0.55×0.20-0.30×0.20	= 0.05 ... b
	(側面)	(0.13×0.05+0.20×0.045)×2面	= 0.03 ... c
	合 計	(a+b+c)×6箇所	= 0.90m ²

塗替え塗装仕様

施工工程	使用材料	標準使用量 (g/m ²)	標準膜厚 (μm)	養生時間
素地調整	3種ケレンA 電動工具併用により白錆、付着物・バリ等除去全面目粗し後清掃			4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼材露出部のみ)	(200)	60μm	1～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	1～10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	60μm	1～10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	30μm	2～10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	25μm	

注) 1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、塗装範囲及び数量調査を協議のうえ施工すること。
2. 素地調整において電動工具併用により白錆、付着物・バリ等除去、全面目粗し後に清掃を行なうこと。

鋼構造物塗替え塗装工参考図



塗装面積集計表：主桁、横桁、支承

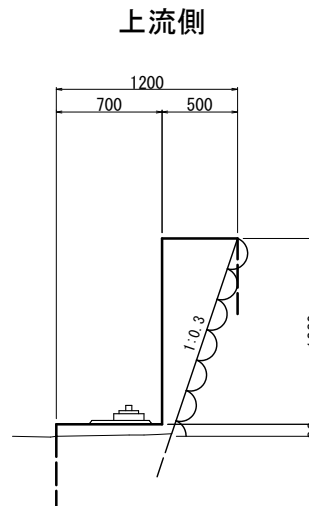
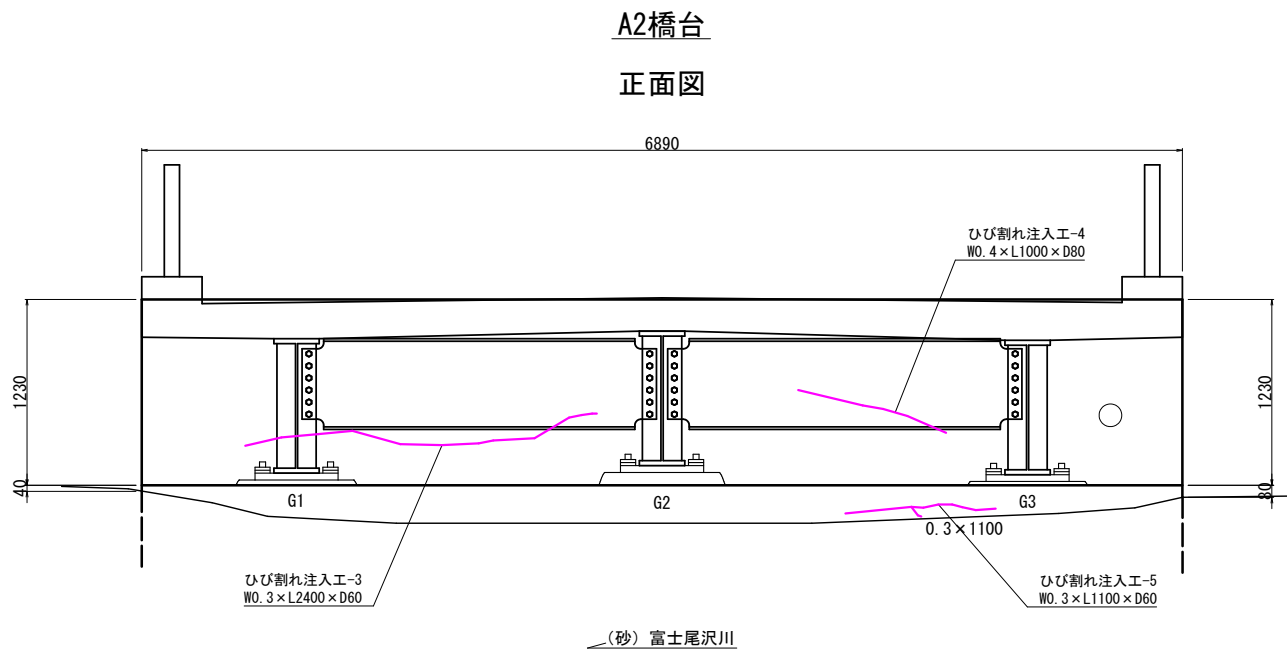
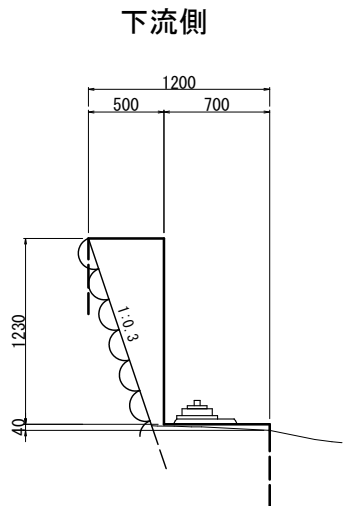
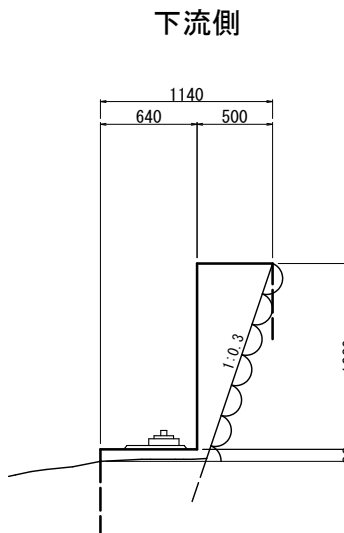
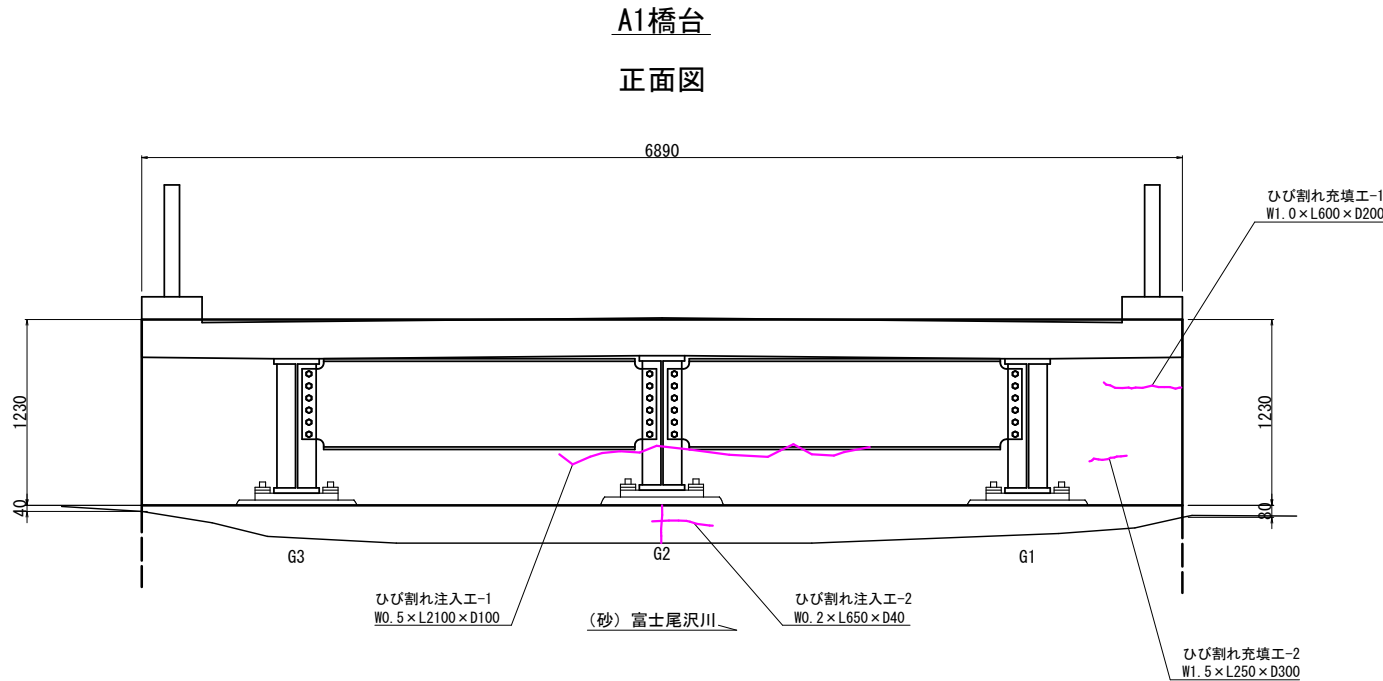
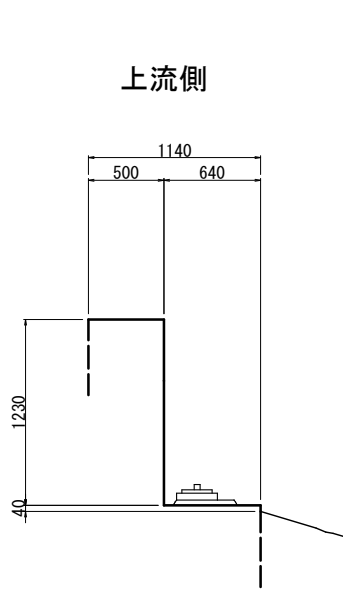
部 材		単位	数 量
主 桁	G1主桁	m ²	37.75
	G2主桁		32.30
	G3主桁		32.40
横 桁	ES-1～6		3.64
	IS-1～4		7.90
支 承			0.90
合 計			114.89m ²

実 施 図

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	5/7	塗替塗装図(3)	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工 (河川協議必要)		
	有り	無し	

下部工補修図
しゃくなげ橋：A1、A2橋台

S=1:25
(A3=1:50)



ひび割れ注入工（低圧注入工法）
（使用材料：エポキシ樹脂系注入材 3種相当）

No.	部 位	開口ひびわれ注入量		
		幅 W (mm)	長さ L (mm)	深さ D (mm)
1	A1胸壁	0.50	2100	100
2	A1堅壁	0.20	650	40
3	A2胸壁	0.30	2400	60
4		0.40	1000	80
5	A2堅壁	0.30	1100	60
合 計			7.25 m	

ひび割れ充てん工法
（使用材料：可とう性エポキシ樹脂）

No.	開口ひびわれ			
	部 位	幅 W (mm)	長さ L (mm)	深さ D (mm)
1	A1胸壁	1.00	600	200
2		1.50	250	300
合 計			850	

※ ひび割れのUカット断面は、A= 115 mm2（平均）とする

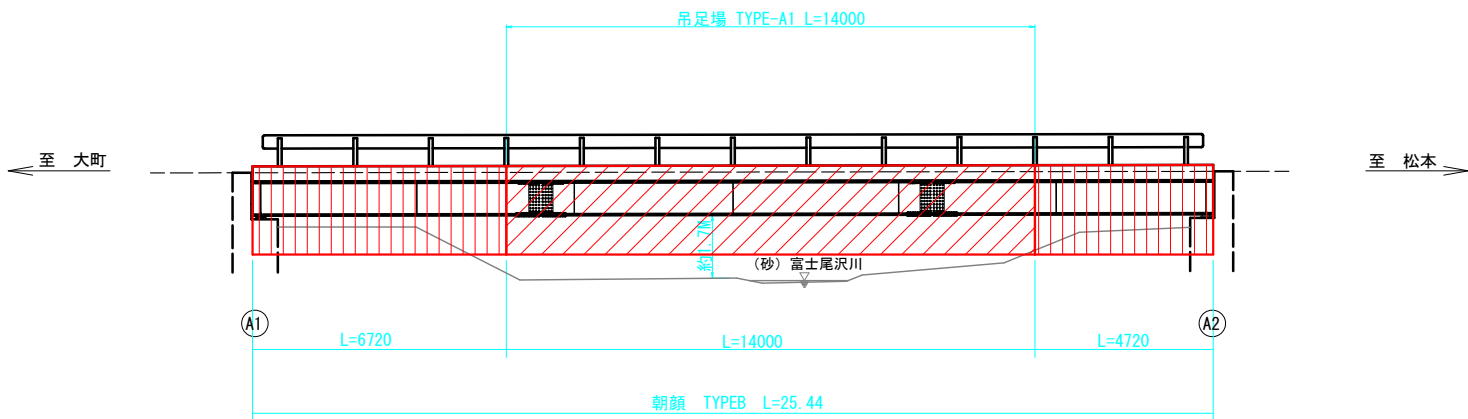
実 施 図

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	6/7	下部工補修図	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工（河川協議必要）		
	有り	無し	

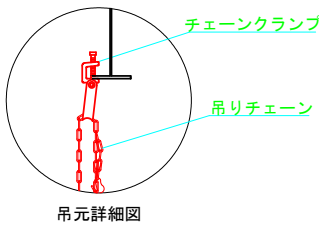
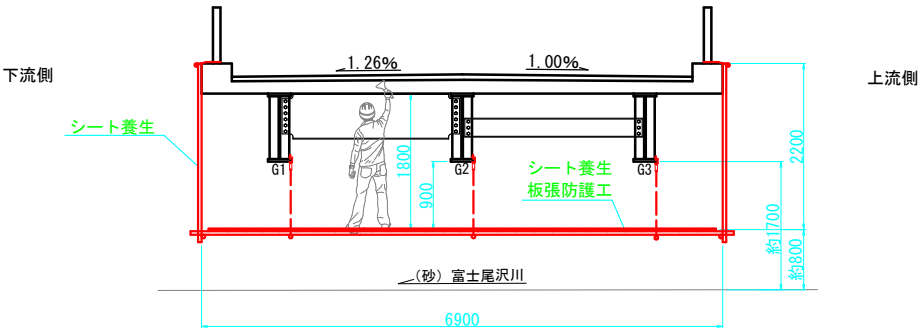
仮設図（参考）
しゃくなげ橋

S=1:100
A3 S=1:200

側面図



断面図 S=1:50

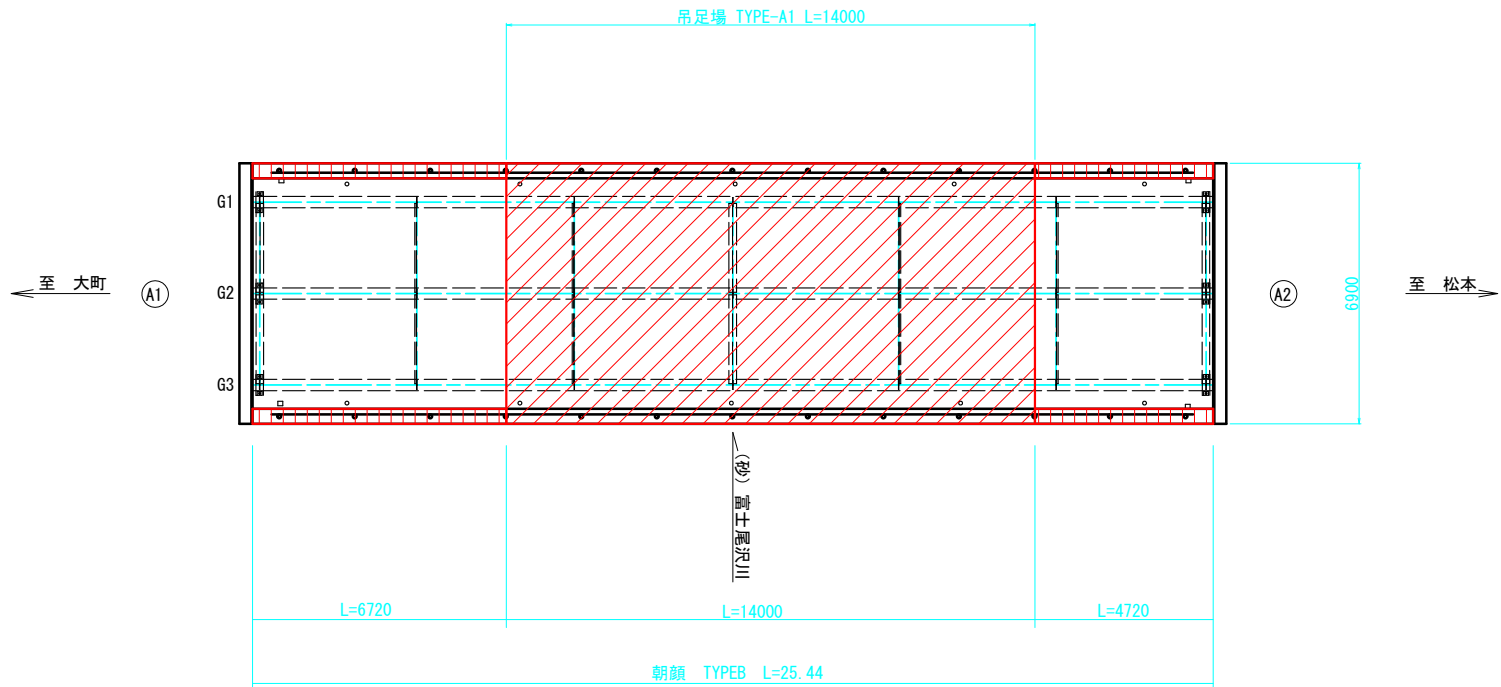


仮設足場面積計算

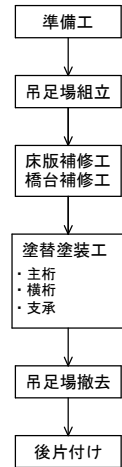
TYPE-A1 吊足場 (板張防護+シート養生): $6.90 \times 14.00 = 96.6\text{m}^2$
TYPE-B 朝顔 (板張防護+シート養生): $25.44 \times 2.2 \times 2 = 111.9\text{m}^2$

- 注意事項
- 板張防護工、シート養生は塗装状況に合わせて必要数量を設置すること。
 - ケレン作業時の塗膜カス粉塵が外部へ飛散しないような設備とすること。

平面図



施工フロー



実施図

令和8年度 道路メンテナンス事業 しゃくなげ橋補修工事			
番号	7/7	仮設図(参考)	縮尺 図示
市道穂高0763号線 安曇野市 穂高有明			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 都市建設部 維持管理課			
現場制約事項	1 湯水期施工 (河川協議必要)		
	有り	無し	